



2団だより (6月の活動トピックス)

発行責任者：団委員長 池澤 榮次郎

団本部：鶴林寺 宝生院内 (団HP bs.kakogawa2@yahoo.co.jp)

「誠実である」はとても大事

団委員長 池澤 榮次郎

スカウトの8つのおきての第一に「スカウトは誠実である」とあります。「誠実」の意味を調べると、「嘘(うそ)偽(いつわり)がなく、まじめなこと、真心が感じられること」とあります。つまり信用・信頼されると言うことです。

私達は、親、友人、先生、近所の人達、社会の人達など多くの人と接して暮らしています。人々から信用されるために、バスや電車など交通に係わる人は、安全で定時の運行をめざします。食品に関係する人達は、食品が安全で美味しい状態で届けることをめざします。銀行の人達は間違いのないお金の管理に努めます。これらのことが長い間



日曜礼拝はお参りのあと幹顧問から法話などをお聞きする

確実に行われることにより、社会から信用が得られます。5月にあった大学のアメリカンフットボールの試合で選手の悪質なタックルがあり、選手の考えでしたのか、監督たちの指示によるものかで大きく報道されました。タックルをした選手は自分のあやまちをすぐにわびて、正直なことばで対応したため信用が得られましたが、大学の監督らの説明は自分たちの立場や名誉を守る姿勢が見られ、そのことばは信用されませんでした。

私達にとって「誠実(信用)」はとても大事です。

各隊6月の活動・トピックス

○ ビーバースカウト(BVS)隊

「6月も楽しく活動中」 BVS隊長 中住 直哉

6月のムシムシとした梅雨の季節を迎えました。この時期は雨天プログラムの準備が必須となりますが、なんとか雨に遭わずに活動をすることができました。

3日は強い日差しの下、にぎやかにファミリー運動会が開催されました。縦割りの班を作り、カブやボーイのお兄さんお姉さんスカウトと一緒に力を合わせて競技に取り組みました。一番難しかったのは、ロープを使ってペットボトルを持ち上げる競技。ペットボトルを倒さないように、5方向から投げ縄をして持ち上げました。ビーバーには少し難しかったですが、同じ班のカブやボーイが一生懸命手伝ってくれました。



ファミリー運動会 勝利の雄叫び「・・・！」

17日は鶴林寺周辺の用水路で水辺の生き物を捕まえて観察しました。毎年恒例のミシシippアカミガメ(外来種の亀)の捕獲も行い、今年は親亀1匹と子亀1匹を捕まえる事が出来ました。捕獲し

たカメは、在来種の保護の為、須磨水族館の亀楽園で飼育してもらいます。

23日～24日はお父さんお母さんから離れ、シュラフで寝る体験をしました。夜間はどのスカウトもぐっすりと休む事ができており、10月の団キャンプ本番も安心して迎える事が出来そうです。翌日は元気に弓矢を作って遊びました。



○ カブスカウト (CS) 隊

「夏の活動にそなえて」CS隊長 田上 利 広

「ドオーだ・・・命中か・・・？」

6月3日は育成会主催のファミリー運動会では他隊スカウトや保護者との混成チームで各競技に参加し、親睦を深めることができました。

23日と24日は鶴林寺講堂をお借りして舎営訓練を行いました。1日目はナイフの取扱いについて副長から



みんなで箸づくり

教わり、竹からナイフで箸作りを行い、2日目は地図座標と指令書を基に目標物を見つける組対抗ハイキングを行いました。今年度初めての舎営訓練となりましたが



舎営キャンプ 朝の集い

うさぎスカウトは、しか・

くまスカウトに色々教わりながら楽しく活動ができていました。

しか・くまスカウトも昨年度よりたくましくなっており、**大変頼もしかったです。今回の経験を活かして団キャンプも頑張りましょう！**

○ ボーイスカウト (BS) 隊

「日本スカウトジャンボリーに向けた訓練はじまる」 BS隊長 中田 直 文

6月10日、ボーイ隊のうちジャンボリーに参加するスカウト8名は、明石2団の野営場で訓練キャンプを行いました。この訓練キャンプは、派遣隊(兵庫11隊)のチームワークを高めるとともに、長期野営に耐えられる各種技能を磨くことを目的としています。

派遣隊は、高砂、加古川及び明石の各団から計33名のスカウトと明石第2団及び加古川第2団のリーダー4名の合計37名で構成されています。友団との合同活動はスカウトや指導者にとっても良い刺激となり、学びや発見の場でもあります。

スカウトの数が多いということは単に友達の輪が広がるだけでなく、各班を束ねる上級



ジャンボリーの仲間たち

班長の存在や各班競い合いの中で、リーダーシップや協調性を勉強できる貴重な体験になります。



野営テント勢揃い

これからの人生に生かしてもらいたいと思います。

ボーイスカウト運動の創立者であるベーデンパウエル氏もその著書「スカウティング・フォア・ボーイズ」の中で、このことが「スカウティング」であると書かれています。

ジャンボリーは日本連盟主催のキャンプ大会であり、国内におけるボーイスカウト最大の行事です。代表して参加するスカウトにとっては、事前の準備（普段の活動）や訓練を経て参加することに意義があります。「戸惑い」「不安」「心配」もあろうかと思いますが、ジャンボリーを通じて色んなことを吸収・体験し、

○ ベンチャースカウト（VS）隊

「炊飯訓練」 VS隊長 幹 敬盛

6月17日に、VS隊では新入隊員で炊飯訓練を行いました。マキと釜で炊飯するのは朝飯前（？）でも、小さなコッヘルとガスバーナーで、ともなるとなかなか難しいものです。各隊員が携帯ガスコンロの使い方のレクチャーを受け、ピカピカの銀シャリ目指して炊飯に取り組みました。出来上がったご飯はコゲも少なく上々、お後はふりかけ等をまぶして三角おにぎりを握りました。

ごはんさえ炊ければ他の料理は何とかできます。上級のスカウトらしく食事を迅速に行い活動の時間を十分に取れるよう、そして荒野を目指して羽ばたけるよう訓練を重ねてほしいです。



「おいしくなーれ、おいしくなーれ」

ボーイスカウト活動に関心のある方・入隊を希望される方は、[団HP](#)（「ボーイスカウト加古川第2団」（検索））のメールでアクセス頂くか [団本部 鶴林寺宝生院 電話 079-422-6064](#) へお問い合わせ下さい。見学・体験入隊はいつでも可能です。

ボーイスカウト加古川第2団では、君の入隊をまっています。